

茅ヶ崎市長より諮問のあった「茅ヶ崎市における戸別収集のあり方」について、答申案をまとめるにあたり、貴委員のお考えをお聞かせくださるようお願いいたします。12月22日(金)までに事務局までご提出くださるようお願いいたします。

茅ヶ崎市廃棄物減量等推進審議会 会長 安齋 寛

- (1) 前回の審議会で、事務局より説明のあった「ステーション収集方式の課題」は、地域によって差こそあるものの、全市域に見られる状況となっています。ごみ集積場所の状況によっては、戸別収集を実施せずとも、他の対策により解決できる課題もあるかと考えています。そこで、例えば、共同住宅と戸建住宅との集積場所の分離やごみ集積場所の分散・増設など、戸別収集の実施以外で、課題解決に有効と思われる貴委員のご提言をお聞かせください。

(2) 戸別収集の進め方に関して、アンケート結果からは、無作為抽出アンケート・フリーアンケートともに、「全市域一斉に実施すべき」が大勢となっています。そのような状況ではあるものの、無作為抽出アンケートで約 6 割の方が実施に異を唱えていることを考慮した時に、真に必要な世帯を対象として戸別収集を実施していくことも必要であると考えています。戸別収集の進め方について、貴委員のお考えをお聞かせください。

(3) 戸別収集の対象品目に関して、アンケート結果からは、無作為抽出アンケート・フリーアンケートともに、『燃やせるごみ』と『燃やせないごみ』を対象とすることが大勢となっています。ごみ集積場所を起因とする様々な諸問題を解決していくためには、全ての品目を対象として戸別収集を実施することが望ましいですが、前回の審議会では、事務局より実施費用が示されており、対象品目が増えれば増えるほど、費用は増加傾向になるとのことでした。両アンケート結果からも「多額の費用をかける必要がない」との意見が大勢なことからも、真に必要な品目に限定し費用を抑制すべきと考えています。戸別収集の対象品目について、貴委員のお考えをお聞かせください。

(4) 前回の審議会では、事務局より、平塚市が社会実験を経て戸別収集を一部地域で実施しているとの説明がありました。また、厚木市がモデル事業を通じて戸別収集の効果を確認中との説明もありました。戸別収集については、フリーアンケートで約6割の賛成を得た一方で、無作為抽出アンケートで約6割の方が実施に異を唱えています。両アンケートの傾向が相反している状況の中、茅ヶ崎市においても、社会実験等を通じて、戸別収集のメリットやデメリット、また掛かる費用などを具体的に検証する必要があると考えています。社会実験等の要否について、貴委員のお考えをお聞かせください。

(5) 戸別収集については、無作為抽出アンケートで約6割の方が実施に異を唱えています。このような状況の中で、全市域一斉に戸別収集を実施していくことは難しいと考えています。しかし、ごみ集積場所を起因とする様々な諸問題を解決していくためには、戸別収集は大変有効な施策の一つであると考えています。前回の審議会で、事務局より説明のあった「市の概況」・「ごみ処理の現状」・「ステーション収集方式の課題等」とアンケート結果、また、(1)～(4)の設問に対する貴委員のお考えを整理した上で「茅ヶ崎市における戸別収集のあり方」について、貴委員のお考えをお聞かせください。

氏 名	
-----	--